

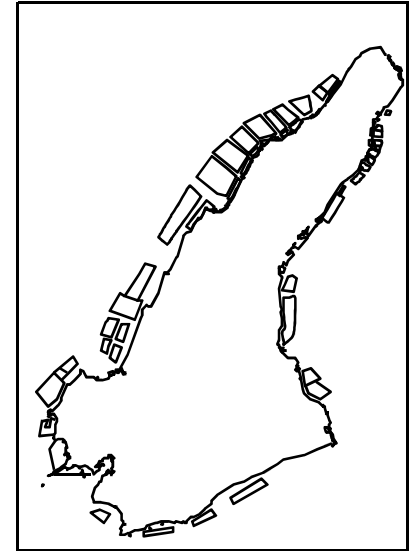
兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 9 号)

冬型の気圧配置による時化が数日続いた後の調査でした。現在、播磨灘北西部沿岸域を中心にユーカンピアが大量発生しています。一部海域を除き淡路周辺海域においてもユーカンピアが散見されています。今のところすぐに問題となる発生量ではなく、窒素は全域において概ね $5 \mu\text{g at / L}$ の値で推移しています。

平成29年1月18日発行
兵庫のり研究所

(珪藻) 南浦以外の海域においてユーカンピアが散見されている。大阪湾に面した東浦や神戸地先においても見られることから風波や潮流により流入したものと考えられる。これら海域では、他にキートセロスやレプトシリンドラス等数種の珪藻も散見される。湊漁場はこれらの珪藻がやや多く発生しているため窒素はやや低い値を示した。淡路南浦海域は珪藻が殆ど確認されない状況で推移している。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	6.6	5.5	4.7	5.0
	リン	0.63	0.58	0.50	0.53
西浦地先	窒素	6.5	5.6	4.0	4.2
	リン	0.65	0.57	0.52	0.50
南浦地先	窒素	4.9	5.3	4.5	4.8
	リン	0.53	0.56	0.50	0.52

(1/6)

(1/18)

栄養塩 (窒素) 図

平成29年1月16・18日調査

